

経済概況（ベネト州）

2024年7月
在ミラノ総領事館

基礎データ

* 括弧内の％は伊全体に占める割合

- 面積：18,345km²（6.1％） ●人口：4 851 972人（8.2％、2024年1月）
- 名目GDP：1805億5330万ユーロ（9.3％、2022年）
- 1人あたりの名目GDP：37,238ユーロ（伊32,983ユーロ、2022年）
- 経済成長率：+0.8％（伊+0.9％、2023年）
- 失業率：4.3％（伊7.7％、2023年）
- 輸出額：819億5500万ユーロ（13.1％、前年比－0.3％、2023年）
- 主要輸出品目：機械・器具、手工業製品、化学品、皮製品、電気機器、金属加工品、プラスチック、衣類、食品・飲料（出典：伊国立統計局（ISTAT）及び伊中銀）

対日貿易

- 対日輸出：5億9800万ユーロ（2023年）
- 対日輸入：8億4600万ユーロ（2023年）

（2024年6月、出典：伊中銀）

経済動向

<2024年4月>（ベネト州社会・経済レポート）

- 同州の2024年のGDPは+0.8％と推定される。
- 同州における2023年のインフレ率は、5.5％（全国5.7％）を記録。インフレ率が1％に近い状態が数ヶ月続いた後、2024年3月には若干上昇し、1.6％（全国1.2％）となった。主な理由はエネルギー製品の価格が前年より穏やかに下落した一方で交通関連サービスの価格が上昇したことによる。
- 同州における2023年の輸出は前年比－0.3％を記録した。最も輸出で成長した分野は機械・器具（前年比＋8％）であり、続いて光学機器（＋7.2％）、農産食品（＋6.6％）である。一方で輸送（－9.5％）、冶金加工（－8.4％）、化学製品（－6.4％）、家具（－6.3％）は減少した。輸出先別に見るとアルジェリア（＋66.9）が最も多く、続いてトルコ（＋26.1％）、フランス（＋3.7％）となった一方で中国（－11.8％）、オーストラリア（－9.6％）、米国（－5.8％）への輸出は減少した。
- 2023年の観光客数は2022年比＋16.1％と大幅に増加し、2019年のパンデミック以前の数値を＋4.3％上回った。内、外国人観光客数は2022年比＋24.3％となり、2019年比＋3.7％となった。
- 同州における2023年の雇用率は70.4％となり2022年比＋3.7％（全国＋2.1％）を記録した。特に女性雇用率が増加し＋4.9％（男性＋2.9％）となった。

